

編集後記

編集委員会の委員になって
 早一年。何度か名古屋の編集
 委員会に足を運び、その度に、委員の人たちが学会誌を面
 白くするために「こんなに一生懸命やってたんだなあ」と
 感じ入っています。そのわりに自分は大きいたことができて
 ないのですが、さて、編集後記の順番が回ってきたので何
 か書かねばなりません。テーマは自由ということなので、
 最近感じていることをとりとめもなく書いてみたいと思っ
 ます。実は最近、遅ればせながら「冬のソナタ」にハマっ
 てます（巷では「冬ソナ」と略して呼ぶそうです）。最初は
 アホなストーリーだとバカにしていたのですが、これが続
 けて見ると止まらないんです。結局、DVDで、一気に第
 1話から第20話まで見てしまいました。世の中、日韓共催
 のサッカーワールドカップあたりから相当な韓国ブームら
 しいのですが、確かに本屋に行くと、韓国モノが平積みさ
 れている。学界にも韓国ブームなるものがあるのかと思っ
 て気にしていると、なんとなくそれらしい感じがちゃんと

あるんです。私はここ10年ほど航空宇宙工学関係の仕事が
 中心になっているんですが、今年の3月には「Asian Joint
 Conferences on Propulsion and Power」なるものがSeoul
 で日韓共催で行われ、初めて韓国に出張しました。また、
 11月には「KSAS-JSASS Joint Symposium on Aerospace
 Engineering」なるものがSeoulで日韓共催で行われること
 になっています。プラズマ・核融合関係では、IAEAの
 「Technical Meeting on "Physics and Technology of Inertial
 Fusion Energy Targets and Chambers"」というものが、10
 月にDaejeonで行われることになっています。また、この会
 議にあわせて、同時期・同地にて「Third Research Coordi-
 nation Meeting on "Elements of Power Plant Design for
 Inertial Fusion Energy"」も行われるようです。はたして、
 私の気にし過ぎか、それとも学界にも韓国ブームなるもの
 があるのか？

(遠藤琢磨)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦 藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一 (総務委員長)
理 事	榎戸 武揚 (広報委員長)	岡野 邦彦	尾崎 章 (財務委員長)		
	際本 泰士	佐藤浩之助	田中 和夫 (プログラム委員長)		
	田辺 哲朗	長 照二 (出版委員長)	永見 正幸		
	二宮 博正	畠山 力三	堀岡 一彦 (広告委員長)		
	松岡 啓介 (企画委員長)	吉田 善章 (編集委員長)			
監 事	長谷川 満	藤山 寛			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章 (東大新領域)

エディター 関子秀樹 (九大)、関 昌弘 (原研)、田中雅慶 (核融合研)、西村博明 (阪大)、福山 淳 (京大)、藤山 寛 (長崎大)
 編集委員 相澤正満 (日大量科研)、安藤利得 (金沢大院理)、井深真治 (東工大院理工)、岩前 敦 (京大院工)、江角直道 (長野高専)、遠藤琢磨 (広大院工)、粕谷俊郎 (同志社大工)、菅野龍太郎 (核融合研)、近藤公伯 (阪大院工)、榊田 創 (産総研)、篠原俊二郎 (九大院総理工)、清水勝宏 (原研那珂)、下妻 隆 (核融合研)、鈴木 哲 (原研那珂)、鈴木千尋 (核融合研)、高杉恵一 (日大量子研)、力石浩孝 (核融合研)、波多江仰紀 (原研那珂)、服部邦彦 (東北大院工)、林康明 (京都工繊大)、檜垣浩之 (筑波大プラズマ)、松本和憲 (富山県大工)、南 貴司 (核融合研)、村上定義 (京大院工)、森下和功 (京大エネ理工研)、山本 靖 (京大エネ理工研)、湯上 登 (宇都宮大院工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第80巻第7号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: http://jspf.nifs.ac.jp/

印刷 株式会社荒川印刷

2004年(平成16年)7月25日

定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1火曜日に開かれています。但し、第1火曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の火曜日に開かれます。